

平成 27 年 9 月 28 日

「水辺の緑いっぱい作戦」を実施しました

「水辺の緑いっぱい作戦」とは、ダム湖の湖岸を緑にすることを目的として、平成 13 年から三笠市内の小学生と一緒に来ています。今年、9 月 28 日に幾春別川ダム建設事業所で「エゾミソハギ」の種まきとポット苗づくりを三笠小学校の 4 年生 49 名と行いました。

この活動では、植物の専門家である北海道科学大学の岡村先生にお越し頂き、木も息をしていること、植樹する「エゾミソハギ」や「タチヤナギ」は水に沈んでも息をすることができ枯れにくいことなどのお話がありました。今回はあいにくの雨で、桂沢ダムの湖畔での植樹は中止となりましたが、みんなで蒔いた「エゾミソハギ」の種は、これから 2 年以上かけて育て、今後、ダム湖の湖岸を緑にするための母樹として使います。



エゾミソハギの苗床づくり



エゾミソハギのポット苗づくり



北海道科学大学岡村先生による説明